



# 議会だより



## 令和5年3月定例会・臨時会

あらまし・令和5年度予算・議員提出議案	2
予算審査特別委員会	4
議案審議・人事案件	6
臨時会・一般質問目次	7
一般質問 6人が登壇	8
委員会レポート	14
町民の皆様との意見交換会	16
わたしたちの町 (猪苗代小・緑小)	18

わくわくどきどき一年生!

猪苗代小学校入学式



議会だより

マチイロのご利用は下の QR コードから



App Store



Google Play

福島県 耶麻郡 猪苗代町 字城南 100 番地

<https://www.town.inawashiro.fukushima.jp/>

# 統合小学校整備 事業はじまる!!

## あらまし

令和5年第2回定例会は3月7日から3月20日まで開催されました。町長から提出された議案は、令和4年度補正予算10件、令和5年度当初予算12件、条例の制定及び一部改正が7件、指定管理者の指定7件、損害賠償及び和解が1件、契約の一部変更が1件であり、すべて原案のとおり、可決しました。

また、人権擁護委員候補者の推薦に係る案件1件についても、異議のない旨答申することに決定しました。

委員会提出議案、議員提出議案各1件についても、可決されました。一般質問は6人の議員が行いました。

開会直後、佐瀬真議員から議員辞職願が提出され、異議なく許可しました。

### 【一般会計予算の概要】

総額は93億8200万円

前年度比7億8200万円の増額

歳入は、自主財源の根幹である町税の確保がなお厳しい状況だが、徴収率向上に努め、負担の公平性を図る。

歳出は、統合中学校屋内運動場建設工事及び少子高齢化に伴う義務的経費の増加が見込まれる。内部管理経費の節減や事務事業の効率的な執行に努め、臨時的経費も事業の効果と緊急性を重点に選別し、事業費の圧縮を図った。

令和5年度末の町債現在額は、前年度比約1億100万円減の約86億1800万円を見込んでおり、今後も安定した財政基盤を確保し、可能な限り起債額を抑制する。

### 【主な予算】

〔歳入〕

町税2.1%増!

物価高の影響もあり厳しい状況にあるが、コロナ禍の影響は徐々に和らぎ、観光業等において緩やかな持ち直しが見られる。固定資産税は太陽光発電設備の償却資産の課税標準額に増額が見込まれる。

町債発行は

予算総額の10%以内!

中学校新屋内運動場やグラウンド整備事業で約3億円を発行。前年度比で6300万円増の9億1900万円を計上。

〔歳出〕

町道の維持関連事業に1億3300万円

町道側溝改修工事、舗装維持補修工事ほか。

こども園の運営費に1億3000万円

2園の保育に要する経費、施設の維持管理、給食調理業務・通園用バス運行管理業務委託ほか。

教育旅行支援事業に3300万円

県外学校向けバス助成。

商工業金融対策事業に1億4900万円

制度資金貸付、利子及び信用保証料の補給。

農業の担い手づくり総合支援事業に1600万円

地域おこし協力隊活動事業に3100万円

移住・定住、地域活性化、農産物6次化・ブランド化、有害鳥獣対策、観光振興、集落営農・地域づくり支援の隊員8名の活動費（人件費を含む）。

町営住宅改修工事に2600万円

桜ヶ丘住宅9号棟長寿命化工事、上ノ上集会所外壁改修工事。

陸上競技場3種改修工事に6100万円

3種改修工事、3種公認陸上競技備品購入。

統合中学校屋内運動場建設工事等7億9100万円

体育館（建築・解体・電気設備・機械設備）、グラウンド整備、駐車場照明工事ほか。

統合小学校整備事業1億7100万円

猪苗代小・千里小改修工事、吾妻小給食室改修工事、スクールバス・給食配送車等購入費ほか。

令和4年度一般会計補正予算 令和5年度一般会計予算

### 【反対討論】

〔五十嵐 ミエ子〕

国の定める学校規模適正化にたよらず、多様性とふるさととの良さを尊重する学校教育を維持していただきたいので、統合小学校事業の予算案には反対。

※予算にかかる主な質疑については、4ページからの『予算審査特別委員会』をご覧ください。

### 議員提出議案

### 議会議員定数削減へ!

「猪苗代町議会議員定数条例の一部改正」

提案者 後藤 公男  
賛成者 佐藤 英一郎

◎議員定数 15名↓14名

※次の一般選挙（任期満了などの全員を選ぶ選挙）から施行

提案理由

現在、我が国では少子高齢化により特に地方の人口減少が急速に進む中で、少子化対策や地域活性化対策が急務となっております。本町においても同様な傾向にある。町の経済状況は、主な産業である農業や観光業において、コロナ禍の影響や肥料、燃料の高騰により所得減少が大きな問題となっており、さらには町民生活も物価高騰によって深刻な状況となっている。

現在の議員定数は、平成28年に15名となったが、以来、猪苗代町の人口はおおよそ千人減少している。また本議会では議員定数が奇数であり、採決の際に可否同数

の場合には議長採決となってしまうため、議員定数を偶数とすべきである。

併せて、県内近隣市町村議会においても定数削減が行われている現状であり、こうしたことから本町においても定数削減は避けて通れない。

以上の理由から提案するものである。

賛成多数で可決

### 【反対討論】

〔佐藤 悦夫〕

可否同数の場合、議長が裁決に入ることには定めにあるので削減すべきではない。こういう時期だからこそしっかりとやっていくべきである。

〔五十嵐 ミエ子〕

機械的な削減ではなく、住民の多様なニーズや意志を正確に反映できるだけの議員数を確保することが大切であるため反対。

### 【審議した議案と可決状況】

件名	1	2	4	5	6	7	9	10	11	12	13	14	15	結果
	鈴木元	大高佐代美	渡部一登	星野あけみ	瀧田勝昭	佐藤悦夫	佐藤英一郎	金本久美子	五十嵐ミエ子	後藤公男	関沢和人	長澤操	渡辺真一郎	
令和4年度一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	○	○	議	可決
令和5年度一般会計予算	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	○	○	議	可決
猪苗代町議会議員定数条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	欠	×	○	○	×	○	○	○	議	可決

上記以外の議案については全会一致で可決しました。

※賛成：「○」、反対：「×」、議長「議」、欠席：「欠」、除斥：「除」、棄権「棄」、議長に不在「-」同数の場合には議長が採決に加わる。

議長を除く11名の委員で、令和4年度補正予算、令和5年度予算を審査しました。

令和4年度補正予算

一般会計

〔歳入〕

個人・法人町民税の増額の要因は。

個人について、懸念された所得等の大幅な減少は見られず、法人税についても観光、建設業、小売業の収益が改善、増加したことから増額補正となった。

〔使用料及び手数料〕

総合体育館駐車場使用料の増額内容は。

スキー場の臨時駐車場としてカメリーナ及び学びの駐車場の貸したため。

〔国庫支出金〕

住民税非課税世帯に対する臨時特別給付事業補助金は、世帯数を把握し予算措置をしたと思うが、1440万円と大きく減額となった理由は。

家計急変世帯も合わせて1840世帯の予算措置をしたが、288世帯が申請しなかった。扶養になっていて対象にならないケース、辞退や死亡等があった。

〔歳出〕

〔民生費〕

子育て世帯に対する原油価格・物価高騰対策支援事業及び出産手当の減額内訳は。

子育て世帯に対する支援事業は1800人を見込んでいたが、1666人となった。出産手当は、68人の見込みが49人の見込みとなった。

〔衛生費〕

予防費の委託料の大きい減額の要因は。

風しん追加対策の抗体検査事業で受検率が15・6%であったため減額。定期予防接種（風しん、2種混合、BCG等）やインフルエンザ予防接種も見込みより減となった。

〔歳出〕

〔総務費〕

電算管理費の8千万円以上の増額の内容は。

新たな業務委託として財務会計文書管理システム機器更新、情報セキュリティ強化対策ネットワーク更新、財務会計システムインボイス制度対応改修業務など。

地域おこし協力隊は満期で退任する方もいるが、新規採用分も含まれるか。

8名で計上している。2名が年度途中で退任となるが、改めて2名の募集を予定している。



地域おこし協力隊活動報告会の動画

〔民生費〕

老人福祉費の増額の根拠は。

敬老祝金、福祉タクシー購入助成、介護職員の初任給・実務者研修に係る補助金、老人福祉センタートイレ改修工事、介護保険特別会計への繰出金で増額となっている。

〔農林水産業費〕

農業振興費の減額は。集落営農活性化プロジェクト促進事業で約127万円、燃油高騰対策支援金が約242万円、未来の夢たい肥活用による農産物の高品質化事業で約151万円、それぞれ減となった。

町民応援商品券交付事業の実績は。第1弾、第2弾と実施し、1人5千円で交付した。第1弾は換金率が98・42%、交付済人数が1万3266人。未交付が134人となった。

〔商工費〕

町民応援商品券交付事業の実績は。第1弾、第2弾と実施し、1人5千円で交付した。第1弾は換金率が98・42%、交付済人数が1万3266人。未交付が134人となった。



町民応援商品券

風評被害対策費1200万円の減額内訳は。

ふくしまゲレンデ逆走マラソンが中止で70万円の減。いなわしろ花火大会で1200万円ほど予算措置していたが、コロナの影響と協賛金が厳しいこと等の理由により中止と判断した。

〔商工費〕

プレミアム商品券事業の実績と5年度の枚数等は。

1セット5千円で販売6千円利用できる20%プレミアムで1万セット販売した。5年度は9千セットを準備したい。

電子クーポン発行事業の実績と5年度の枚数等は。

1セット2千円で1人3セットまで購入でき、50%プレミアムで1500セットを販売した。利用率98・3%となった。5年度も同様の事業内容を予定している。



携帯端末で購入、利用可能な電子クーポン

〔土木費〕

道路維持費、前年比5千万円増額計上の積算根拠は。

道路メンテナンス事業費の工事請負費で約2千万円、道路除雪費の民間除雪業務委託料で1200万円、防雪柵設置撤去業務委託で約800万円それぞれ増となっている。

〔土木費〕

都市計画道路猪苗代翁島線が中止とあるが、内容は。地権者等と用地交渉や、地区説明会も実施し、大多数の方が事業に賛成いただいたが、一部賛成が得られず、測量設計委託の発注まで至らなかった。事業の中止ではないので引き続き実現に向け努力する。

中町地内配水管布設替え工事の年度内完了見込みは。コロナ流行等で作業員の確保が出来ず年度内完了が出来ないため次年度へ繰越す。

〔消防費〕

中町地内配水管布設替え工事の年度内完了見込みは。コロナ流行等で作業員の確保が出来ず年度内完了が出来ないため次年度へ繰越す。

中町地内の工事状況



中町地内の工事状況

〔教育費〕

統合中学校整備事業費工事請負費が4511万円減の内容は。

必要な追加工事もなく、今年度の工事の支払金額が確定したため。園独自の研修をしたほうが、成果が見込めると判断となった。

活動が低迷しており、十分な研修等ができないため退会した。園独自の研修をしたほうが、成果が見込めると判断となった。

令和5年度予算

一般会計

〔歳入〕

〔地方交付税〕

6千万円増額の要因は。国の地方財政計画の出口ベースで、前年度比1・7%の予算計上がされている。

〔使用料及び手数料〕

優良堆肥製造施設使用料の内容は。①堆肥の散布手数料②事業系生ごみの処理手数料③事業生ごみの分別収集のモデル事業に関する手数料。

〔教育費〕

教育総務費の増額の要因は。

6つの小学校への記念事業補助金、1校当たり100万円が大きな要因。閉校に伴う記念誌や記念事業実施に係る経費を予定している。

統合小学校整備事業費の工事請負費の内容は。猪苗代小の給食室機器更新、職員室エアコン設置。千里小はパソコン室を普通教室に改修、3年生教室を特別教室2室へ改修、給食室を給食搬入通路へ改修、普通教室へのエアコン設置。吾妻小は統合後、千里小へ給食を提供するための給食室の機器更新工事。

陸上競技場の3種改修工事の内容は。ルール改正が主な要因。タータンの張替え670・7平方メートルを予定。



日本陸上競技連盟3種公認の町陸上競技場

審議した主な議案

猪苗代町個人情報保護に関する法律施行条例
個人情報保護に関する法律の改正により猪苗代町個人情報保護条例を廃止し、新たに制定する。

猪苗代町付属機関設置条例の一部改正
下水道委員会を新たに設置するとともに、一般廃棄物（ごみ）処理基本計画策定委員会・猪苗代病院事業運営委員会の所掌事務等を改めた。

出産育児一時金増額!!
猪苗代町国民健康保険条例の一部改正
健康保険法施行令の一部改正に伴い、出産育児一時金を増額（令和5年4月1日施行）
◎40万8千円↓48万8千円

国土利用計画（猪苗代町計画）
令和14年度を目標年度とする町土の利用に関する行政上の指針する計画案を可決。



委員会提出議案
猪苗代町議会個人情報保護に関する条例
個人情報保護に関する法律の一部改正に伴い、法規定の範囲から、議会が除外されることになったため、新たに制定する。

自動車損害賠償責任事故による損害賠償及び和解について
町内磐根字法正尻道上地内の磐越道上り車線を走行中の普通乗用自動車に、町所管の道路橋から雪塊が落下し破損させた。事故の損害を賠償し和解するもの。
【主な質疑】
問 2年前にも同様の事故があり対策をしていたはずだが、具体策はないのか。
答 土日を含め職員による巡回を強化していたにもかかわらず事故に至ったことは痛恨の極みである。ネクスコ東日本等関係機関からご意見をいただきながら、次の降雪期までにハード、ソフト面で対策を実施したい。

町施設の指定管理者の指定
令和5年4月1日
令和8年3月31日

Table with 2 columns: Facility Name and Designated Manager. Includes items like いなわしろ聖苑, 猪苗代町児童館, etc.

会津若松地方広域市町村圏整備組合
令和5年2月議会定例会

会津若松地方広域市町村圏整備組合議会定例会が2月10日から2月20日に行われました。
条例の一部改正や令和4年度補正予算、令和5年度当初予算など、11議案が上程され、全て原案のとおり可決されました。
令和4年度一般会計補正予算は9億2787万6千円減額し80億6649万円となりました。
令和5年度一般会計当初予算の総額は72億3801万2千円となりました。
議会提出案件としては、会津若松地方広域市町村圏整備組合議会個人情報の保護に関する条例の制定など4議案が提出され、全て可決されました。

人権擁護委員候補者の推薦について意見を求められました

人権擁護委員法第6条第3項の規定に基づき、鈴木重隆氏を推薦することに意義がない旨、答申した。任期は令和5年7月1日から令和8年6月30日まで。



鈴木重隆氏 (白津)

\*人権擁護委員は、町が、議会の意見を聞いたうえで法務局に推薦し、法務局は弁護士会等の意見を求め検討し、法務大臣が委嘱します。

臨時会 (2月6日)

あらし
令和5年第1回臨時会が開催されました。
町長から提出された議案は、自動車物損事故による損害賠償・和解、令和4年度一般会計補正予算・介護保険特別会計補正予算、災害復旧工事契約の4件で、原案のとおり、全会一致で可決しました。

【主な審議内容】

○一般会計補正予算《衛生費》
全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備のため『出産・子育て応援交付金』事業費（国 2/3、県 1/6、町 1/6）645万8千円を計上。伴走型相談支援充実と経済的支援を実施。
◎対象者：既出産者、妊娠届者
◎交付金額：出産応援5万円、子育て応援5万円

【主な質疑】

問 現金給付なのか。
答 現金給付としたい。

○介護保険特別会計補正予算

令和5年度から、地域包括支援センターの委託先を財団法人温知会から町社会福祉協議会へ変更するにあたり、利用者に不利益が生じないように円滑な引継ぎを行うため、介護支援専門員を1名増員するため、委託料81万7千円を増額計上。

○災害復旧工事請負契約の締結 (町道市沢蒲谷地線第2号橋橋梁)

令和4年8月3日から4日にかけての豪雨により被災した橋梁を復旧するための、工事請負契約。
◎契約金額 1億890万円

【主な質疑】

問 工期は令和5年3月31日までののか。
答 繰越承認を受けていないので現段階では3月31日で契約であるが、本契約に承認いただいたのちに繰越承認をお願いする予定。

令和5年3月定例会において、この災害復旧工事の予算の次年度への繰越と、工期を令和6年1月31日とする変更契約を承認しました。



一般質問
町政を問う

○○○ 主な質問事項 ○○○

後藤 公男

令和5年度の重点政策

鈴木 元

ヤングケアラー

五十嵐 ミエ子

女子トイレへの生理用品設置

佐藤 英一郎

猪苗代中学校後援会活動

星野 あけみ

支えあい助け合う地域社会の構築

大高 佐代美

ヤングケアラー

一般質問とは？

議員が町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をたずねること。

本町の質問時間は、答弁を含め60分以内で1問1答方式である。

町のホームページでは、一般質問の録画映像を配信しています。

「YouTube」はじめました！

猪苗代町議会は、町のホームページでの録画映像配信に加え、スマートフォン等携帯端末での閲覧ができるよう、YouTubeによる配信をはじめました。次ページからのQRコードをご利用ください。

Wi-Fi環境での視聴をお勧めします。
※この映像は猪苗代町議会の公式記録ではありません。



きみお 公男  
ごとう 後藤

質問者の動画が見られます



### Q. 廃校や空き家の対策は A. 町広報等で利活用を募集している

【質問】利活用について、町民のアンケート調査等をすべきでは。

【教育総務課長】文部科学省や町のホームページなどで意見やアイデアを募集した。東京都から4件、郡山から2件、町内から1件問い合わせがあり、協議を進めていく。



利活用が望まれる旧東中学校

【質問】空き家の実態と今後の対策は。

【総務課長】平成28年の調査で、空き家が440件、うち危険空き家が86件。近隣住民からの相談があった場合、所有者に通知をし危険度の軽減、解消に努めている。



近隣への被害が懸念される危険空き家

【質問】自然災害や火災等で、周囲に影響を及ぼす恐れがあるが対策は。

【総務課長】令和4年7月に空家等対策協議会を設置し対策計画を策定した。令和4年度に国の補助事業を活用し、1件取り壊した。

### Q. 全日本スキー選手権大会の開催意義は A. 多くの宿泊等経済効果があった

【質問】2月1日から3日まで全日本学生スキー選手権大会など、3大会が猪苗代スキー場で開催されたが、経済的な波及効果は。

【生涯学習課長】宿泊は観光協会が窓口となり、町内20施設、宿泊者のべ908人だった。今後2年間開催予定で、その経済波及効果は大きいと考える。

### Q. 令和5年度の重点政策は A. 統合中学校整備事業である

【質問】体育館建設等は、燃料の値上げや資材高騰で予定通り進むのか。

【教育総務課長】ウクライナ情勢など、不安定な世界状況なので正確に見込むのは難しいが、2023年後半にかけて資材の大幅な増額はないと考えている。

【質問】小学校統合に向けての工事は。

【教育総務課長】猪苗代小の給食室の機器更新やエアコン工事などで、千里小はパソコン室を普通教室へ、3年教室を特別教室に改修。吾妻小は千里小へ給食を供給する為、機器更新工事を行う。

【質問】人口減少や少子高齢化は、経済規模の縮小や労働力不足など大きな問題だが具体策は。

【企画財務課長】ファミリーサポートセンターや子育て支援センターの体制整備、出産祝金の増額などで支援している。また交流促進プロジェクトでは、子供と高齢者の交流回数や見守り協定数、シルバー人材センター登録者数などで成果を上げている。

### Q. 公共施設利用時のインボイス制度への対応は A. 別途、専用帳票の交付を検討している

【質問】利用許可書や納付書については、消費税率や税額、登録番号の記載等のシステム変更が必要になるのでは。

【企画財務課長】当初予算に必要経費を計上し、適格請求書が発行可能になるよう印字項目や専用帳票の追加を予定している。

【質問】免税事業者を選択するのは権利であり、その権利を脅かすような取引停止等はあってはならないと考えるが。

【上下水道課長】経過措置期間もあり、直ちに取引停止することはない。使用料等で経費を賄っていることから、インボイス制度をご理解頂きたいと考えている。



すずき 鈴木 げん 元

質問者の動画が見られます



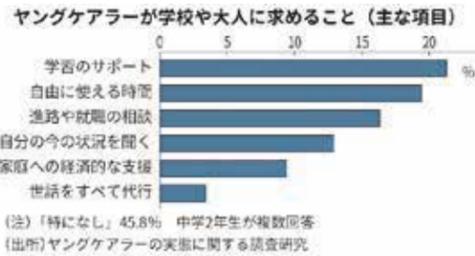
### Q. 当町におけるヤングケアラーの実態調査は A. 町独自の実態調査は行っていない

【質問】相談窓口の設置や、医療機関・支援機関等との連携や支援の取組みは。

【保健福祉課長】町保健福祉課が相談窓口となっており、関係機関と連携を図りながらケア等に取り組んでいく。

【質問】負担軽減等の取り組み強化策は。

【保健福祉課長】家族を取り巻く状況を確認し、ヤングケアラーとなっている原因を見極めながら、児童・生徒だけでなく、家族を包括的に支援していく。



ヤングケアラーが学校や大人に求めること（主な項目）  
（注）「特になし」45.8% 中学2年生が複数回答  
（出所）ヤングケアラーの実態に関する調査研究

【質問】教員や子どもに関わる人たちの研修の機会に、ヤングケアラーに対する理解や意識向上を図る啓発活動が必要では。

【教育総務課長】国・県からも通知があり、研修会の開催など、さらに理解が高められるよう検討していく。

【質問】教育現場としての支援と、行政としての支援が必要であると思うが、双方が今後目指すべき支援は。

【教育総務課長】教育現場から情報提供があれば、保健福祉課等と連携を図り、早期改善に努めていきたい。

【保健福祉課長】家族が抱える様々な問題の複合化と考えている。学校を含む複数の関係機関と連携し、家族そのものの支援をしっかりと行っていきたい。

【企画財務課長】一般競争入札による木材の公売が想定される。木材公売についても過去に3件のみという状況を鑑みて、実際に課税取引が発生する際に登録申請を考えている。



インボイス制度のしくみ



いがらし ミエ子



質問者の動画が見られます

Q. 学校の女子トイレに生理用品設置すべき  
A. 前向きに検討して、設置する

【質問】生理用品の配布は。【教育総務課長】小中学校では、生理用品は町配当予算において購入して、保健室にて保管している。必要な場合には、養護教諭などから児童・生徒へ配布を行っている。  
【質問】小中学校保健室保管の生理用品の利用状況は。【教育総務課長】教育委員会では、生理用品の希望者については、細かく把握していない。  
【質問】生理に対する認識は。【教育総務課長】生理に関しては、小学校の高学年に、保健の授業で、学ぶようになる。思春期に現れる変化と中学校にまいりましても、保健体育の中で性教育のほうを進めている。

【質問】学校のトイレに、トイレトーパーと同じように生理用品を設置すべきでは。【町長】町としては、今後前向きに検討して、設置することとする。



他県の学校の設置事例

Q. 歴史民俗資料館の駐車場確保を  
A. 検討をしてみたい

【質問】歴史民俗資料館の活用状況は。【生涯学習課長】令和4年4月に開館いたし一年を迎えようとしている。令和5年2月末現在で、入館者数は918人と、当初の目標を達成している。入館者の内訳は、町民が534人、町外から384人ご観覧いただいている。  
【質問】今後の計画は。【生涯学習課長】引き続き町内小学校を中心に、各教育機関での活用を図りながら、町の歴史や文化、民俗資料の保管、展示に努め、先人が築いた文化を後世に伝える取組を継続していきたい。



歴史民俗資料館

【質問】持続可能な歴史民俗資料館を目指すため、駐車場の確保と整備は。【生涯学習課長】建物自体、古くなってきており、ご意見等もいただきながら、そのような検討もしてみたい。  
【質問】施設を利用して、高齢者ケアとして回想法の取り入れの考えは。【保健福祉課長】歴史民俗資料館は、歴史文化、民俗資料の保管という目的を持っており、介護予防等、高齢者ケアのために利用する考えは、今のところ持っていない。



さとう えいいちろう 佐藤 英一郎



質問者の動画が見られます

Q. 猪苗代中学校後援会活動は  
A. 活動の内容について把握していない

【質問】統合中学校となり、身近にあった学校がなくなってしまうことで、町民の方の学校への思いが、希薄になってきているのではとの声がある。対策が必要では。【教育総務課長】生徒が存在しない行政区などもあるので、学校や町広報などにより、学校活動の情報幅広く発信し、身近で親しみのある中学校と捉えていただけるように、努力してまいります。  
【質問】後援会活動（会費徴収）について、区費計上などによる会費徴収の提案がなされた。これは会の運営が何らかの助けを必要とする状況と判断するが。【教育総務課長】町では後援会の活動内容に何らかの支援が出来ればと、検討してまいります。

Q. 移住・定住促進の取り組み状況は  
A. ワンストップで対応している

【質問】移住・定住については現在どのような取り組みをしているか。【商工観光課長】町のホームページに掲載するなど、ワンストップ窓口を商工観光課に設置し対応している。  
【質問】希望者が求める情報の提供がなされているか。【商工観光課長】紹介可能な物件等の紹介や自然環境等について提供しているが、福祉や子育てなどの詳細については、それぞれの所管課におつなぎしている。  
【質問】空き家への移住についても窓口が一本化しているのか。【総務課長】空き家対策については総務課で防災防犯など、建設課はリフォーム対策、景観などで、移住定住に関しては商工観光課が所管しており、それぞれの課で対応している。

Q. 特産品への取り組み状況は  
A. 首都圏の物産展等で魅力を発信している

【質問】猪苗代町の米や野菜などの特産品への取り組みは。【農林課長】米やそばなどの農産物のブランド化をし、首都圏での物産展やイベントに参加し、町内産農産物等の魅力を発信している。  
【質問】地元の野菜等の、地元利用について、どのように把握しているか。【農林課長】宿泊施設や飲食店、加工業者等に、町内産農産物の使用につながるよう生産者とのマッチングも現在進めている。



首都圏での米の商談会



移住・定住の相談窓口



ほしの 星野 あけみ

質問者の動画が見られます



### Q. 日常生活を支える買い物への支援は A. 地域包括支援センターへご相談を

【質問】移動が困難な方への買い物支援として宅配サービスや移動販売推進の考えは。

【保健福祉課長】高齢者の買い物支援は包括支援センターで相談を受けている。各種サービスの活用を今後も推進していく。

【質問】エリア拡大などデマンド交通における拡充は。

【企画財務課長】交通空白区を前提とした運行であるため条件が崩れてしまう。新たな拡充は検討していない。

【質問】買い物支援としてスーパーやホームセンターへデマンドヤードを新設すべきでは。

【企画財務課長】ヤード確保への課題もあり慎重に検討していく必要がある。現在まで実現にいたっていない。



相談窓口  
地域包括支援センター

【質問】ひとり暮らし高齢者の送迎付き買い物支援の推進は。

【保健福祉課長】町社会福祉協議会では令和3年度に吾妻・千里・月輪地区の75歳以上のひとり暮らしの方に買い物支援のアンケート調査を行った。試験的に月一回、無料で実施している。

今後の課題として利用者をどのように増やしていくか、利用者負担金をどのようにするかがある。社会福祉協議会と協議し、買い物サポートを推進していく。

### Q. 防犯カメラの設置状況は A. 公共施設は7施設、役場庁舎は未設置

【質問】認知症に対する理解促進は。

【保健福祉課長】サポート養成講座を平成22年から開催し488名が受講した。令和5年度も講座を開催し認知症への正しい知識と理解促進に努めていく。

【質問】地域防災力向上へ女性防災リーダーの育成は。

【総務課長】町防災会議の委員として婦人消防連絡協議会長にご意見をいただいている。昨年7月には地域婦人会への町政出前講座で防災についての研修会を開催した。引き続き女性防災リーダーの活動や育成に取り組んでいく。

【質問】今後、設置の考えは。

【総務課長】各施設の所管課には防犯意識を高めるよう周知している。多くの人が出入りする施設については、設置を検討していく。

【質問】防犯の呼びかけは。

【総務課長】地域における見守りや声かけが大事である。防犯協会と連携し防犯意識の啓発に努める。



おおたか さよみ 大高 佐代美

質問者の動画が見られます



### Q. ヤングケアラーへの支援は A. 包括的に行っていく

【質問】ヤングケアラーの実態調査の経緯は。

【教育総務課長】早期発見と支援施設などの検討を行い、基礎資料とする目的で、県こども未来局が県町教育委員会を通じて各学校で行った。

【質問】調査対象の学年と人数は。

【教育総務課長】小学5・6年で197名、中学生全生徒で304名である。

【質問】ケアをしていると回答した現状は。

【教育総務課長】小学校が10名、中学生が11名である。

【質問】先生方との共有は。

【教育総務課長】通知を受けて各小・中学校の先生方のスキルアップ、考え方の情報提供に努めている。

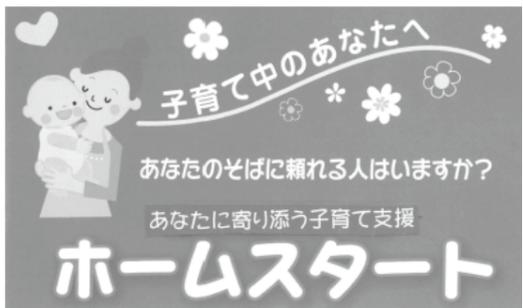
### Q. いこども園の待機児童問題は A. 全て希望する園に入園している

【質問】ヤングケアラーは潜在化しがちである。早期発見のために、民生委員との連携は。

【保健福祉課長】以前よりご家庭の中の問題を発見した場合は、連絡を頂き検討してきた。今後この問題のみならずそれぞれのご家庭の状況を把握していただき進めていく。

【質問】「子育てサロン日向ぼっこ」との連携と支援は。

【保健福祉課長】家事のケアについては研修を受けたスタッフが、家庭訪問をし、育児や家事を一諸に行うホームスタート制度を独自事業として行っている。町としては、この制度を活用しながら連携して、包括的に支援していきたい。



町の家庭訪問型子育て支援

【質問】令和5年度の保育士の配置は。

【こども課長】さくらこども園で6クラス、ひまわりこども園で14クラスを開設する。クラス担任は、全て正職員を充てる予定である。

【質問】育児休業制度取得時の退園制度は、自治体の判断に任されている。子育て応援の観点からも反比例していないか。

【こども課長】現在、待機児童はいないが、継続して保育を行うと定員の関係で本来入園すべき児童が入園出来なくなる事も想定される。

また、育児休業明けには、速やかに再入園できる体制である。なお、育児休業を取得されても保護者の体調等の都合のより、家庭で十分な保育が困難であると認められる場合などは、継続して保育をする事が可能である。

# 委員会レポート

## 住民税の非課税世帯の状況、推移

### 概要

個人住民税には、負担分（地域社会の費用を住民がその能力に応じて広く負担を分任するという性格）と応益性（地方公共団体が提供する福祉等の行政サービスなどの受益に対する対価としての性格）の2つの性格がある。

町内に住所がある者は、均等割と所得割が課税され、住所は無いが家屋敷がある者は、均等割のみ課税される。

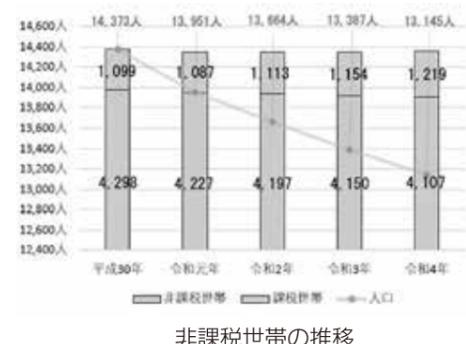
住民税の均等割は、県民税分が2500円、町民税が3500円課税されている。所得割は計算式により算出される。納税方法は普通徴収と特別徴収の方法があり、町では特別徴収を推奨している。

本町の推移は、平成30年に課税世帯が約1100世帯、非課税世帯が約4300世帯であったのに対し、令和4年には課税世帯が約1200世帯、非課税世帯が約4100世帯であり、非課税世帯率が全体の約77%と大変多い。

## 総務常任委員会

### 意見

今回の調査において、非課



税世帯が8割近いという現状である。

年金生活者は所得150万円以下が多く控除額も大きい。令和2年度から年金の基礎控除が10万円下がったことにより、課税世帯が増加した。

高齢化が進むことにより、ますます非課税世帯率が上がると推測される。高齢化率が高率に直結しており、財源が減っていくと、行政サービスへの影響が心配である。改めて少子高齢化対策の必要性を再認識した。

## 高齢者施設の感染症と虐待

### 概要

施設内で新型コロナウイルスの感染者が発生した場合、事業者は会津保健所への報告をし、感染者が5名以上となった場合は保健所から濃厚接触者を含めた抗原検査の実施と、施設の休止等について指示があり、保健所の指示に従うことになる。

感染拡大により、ショートステイ、デイサービスの受入停止など在宅の方へのサービスが十分に届かない状況であった。2施設については、国の感染拡大防止対策支援事業補助金を活用し、面会室等のゾーニング工事を行い、対面会を行うことが出来るようになった。

## 文教厚生常任委員会

### 虐待について

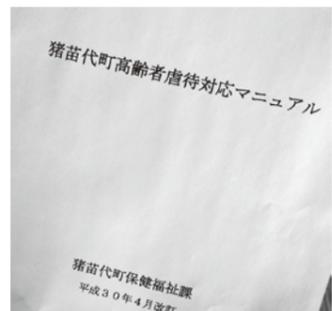
平成18年4月施行の高齢者虐待防止法に従い、県と連携し虐待防止に努めており、町も虐待対応マニュアルを作成。3年に1度、県による指導監査が行われている。県と町で連携し調査に入り、虐待を確認した場合、町は施設に改善報告書を受け、県に報告する。令和3年度に2件、令和4年度に1件、調査による

### 意見

把握のほか、内部通報によるものもあった。

感染拡大により、ショートステイやデイサービスの受入停止が相次いだ。在宅で生活する方やその家族が安心して継続した利用ができるよう、施設側も配慮すべきである。各施設とも、感染症対策は行われているようであるので、面会についても今後とも継続して行えるようにしていただきたい。

虐待については、要因の調査や、職員に対する教育も必要である。3年に1度と言わず調査などができるような仕組みや、未然防止に努めるべきである。また、家庭内での虐待と被介護者の虐待を未然に防ぐ取り組みが必要である。



町の高齢者虐待対応マニュアル

## スキー場の現状

### 概要

町内スキー場の入込は近年30万人程で推移していたが、令和元年シーズンには深刻な雪不足に加え、新型コロナウイルスの流行が追い打ちとなり14万人まで落ち込んだ。その後、行動制限の緩和や各スキー場の営業努力により令和3年シーズンには23万人程度まで回復したが、コロナ禍前の水準には戻っていない。

一方で、アウトドア人気の高まりにより夏リフトやBQなど、グリーンシーズンのグレンデの利活用が各スキー場において進んだ。

今後はインバウンド需要も回復し、人の動きはますます活発になるため、アフターコロナの集客に向けた準備を各スキー場で進めるとともに、グリーンシーズンの更なる活用に努めている。

## 経済建設常任委員会

### 意見

スキー人口減少や新型コロナウイルスの流行が経営への大きな打



賑わいのあるスキー場

撃となった中でも、工夫を凝らし受入れ態勢を整えている町内各スキー場の努力がうかがえる。

かねてから懸案事項であったグリーンシーズンのグレンデの利活用が進んだことはひとつの成果であり、オールシーズンリゾートとしての本町の魅力をさらに向上させるものと大きく期待している。

入込が回復基調にあるとはいえ、営業を休止しているスキー場もあるため厳しい状況に変わりはないが、町は各事業所とより一層連携し、積極的かつ効果的な施策を打っていただきたい。また、指定管理の施設については、個別施設管理計画に沿った改修や修繕を着実に進め、利用者の利便性向上に努められたい。

## 議会運営委員会 議会のタブレット活用について ～磐梯町～

### 概要

磐梯町は、令和元年11月に最高デジタル責任者CDOを設置、令和2年7月には行政機構内にデジタル変革戦略室を発足。

タブレットを使用することで、オンラインで会議に出席することができるようになり、感染症蔓延時や災害発生時のオンライン会議開催への備えにもなっている。

### 意見

議会改革の一環としてデジタル化にいち早く取り組み、結果として磐梯町の議会改革を全国に知らしめることになった。良い施策を先行して行うことの先行者利益を本町でも大切にしたい。



## 議会広報編集特別委員会 全国町村議会広報クリニック



令和5年2月16日、全国町村議員会館にて開催された研修に参加した。

朝日新聞元校閲センター長で文筆家の前田安正氏による「正確な情報を伝えるための校閲・校正について」と題した研修を受けた。また、広報クリニックも併せて行われた。

文章を読んでもらうための工夫として、「短時間で読める」「簡潔に記す」「詳細を記す」ということだ。

文章は、読まれて初めて、文章として成立し、住民に伝えるためには、どうあるべきかを常に意識していかねばならない。要は、いかに分かりやすく、過不足のない文章に仕上げることが大切である。そして、今は情報が発達した時代であり、短時間で読める工夫をしないと読んでもらえない。

議会改革へ前進!

# 町民の皆さまとの意見交換会

## NPO法人猪苗代研究所の皆様

### ●主なご意見●

- ・移住を考える人が相談できる場所がない。移住希望者を逃してしまう。
- ・空き家バンクの活用について、貸せるのか貸せないのかなどの情報を整理して連携して欲しい。
- ・猪苗代には美味しい野菜などを作る農家が沢山いる。町で取り上げていただき、連携して情報を発信してもらいたい。
- ・中ノ沢こけし祭りで、旅館や食堂など一体となって地域を知ってもらえる良い機会になった。
- ・地域おこし協力隊は、地域に魅力を感じて来ている方々であり、もっとやりたいことを伸び伸びとさせてあげること、地域愛の醸成や未永く定着してくれる人材になるのではないかな。



## 猪苗代町商工会の皆様

### ●主なご意見●

- ・もっと観光に力を入れてほしい。
- ・広域的な取り組みが消極的。チャンスはあるのに生かしていない。
- ・経済対策の交付金をもっと上手に使ってほしい。
- ・外貨獲得の取り組みが弱い。ふるさと納税から、観光にあてる一定程度の確保を。
- ・各種イベントには積極的に参加して町民と交流してほしい。
- ・定期的に懇談の機会を設けてほしい。



## 猪苗代町社会福祉協議会の皆様

### ●主なご意見●

- ・請願陳情をお願いした経緯があるが、100~200件もあるから順番だと一職員に言われた。
- ・少子化高齢化社会の対応の仕方、スピード感を持った対応があっても良い。
- ・毎月広報を見ていると人口が減少している。その事実を重く受け止めなければならない。
- ・内部の人間を増やすのも必要であるが、外部から呼び込むことも必要では。
- ・町が主体となって若い人に移住してもらうような計画を立てるのも方法だと思う。
- ・千里小は老朽化しているのに緑小は使わないのか。



猪苗代町議会は、町民の皆様から議会に対してのご意見や各団体の活動状況について、直接お伺いし、今後の議会改革に反映させるため、意見交換会を開催しました。

コロナ禍の中で、大勢が一か所に集まる方法を避け、3つのグループに分かれて実施しました。参加団体は、議会側で選出させていただきました。

いただいたご意見等については、令和5年3月定例会の一般質問などで取り上げたほか、今後の議会活動に反映していきます。

お忙しいところ、ご参加いただき、貴重なご意見をいただきました皆様に、お礼申し上げます。

議会改革、議会運営に反映させるため、以下の内容で意見交換を行いました。

- ①議会改革特別委員会において実施した、「町民アンケート調査」（平成31年1月実施）の結果についてのご意見
- ②議会に対するご意見・ご要望

### 【議員定数について】

- ・町民のために何をどれだけ骨を折ってやっていただけるのか、しっかりやっていただけるのなら15人でもいいと思っている。
- ・人口減少に歯止めが利かない状況であれば検討をお願いしたい。

➡ 3月定例会にて議員定数を削減しました。👉 3ページ参照

### 【議員報酬について】

- ・住民の代表である以上報酬はもらうべき。報酬に見合う活動をしてほしい。
- ・本当に仕事をしてくれるならば、これでは足りないと思う。
- ・我々は高いとか低いとか言えない。議員になった人でないと判断できない。適当なのか不適当なのか、議員の仕事の仕方に尽きる。一生懸命やったら安いのだと思う。

### 【議会・議員について】

- ・議員がいろいろなところで足を運んで話をすれば議会への理解が深まるのではないかな。
- ・わかりやすく議会活動を知ってもらうため情報を届ける手段が必要。
- ・傍聴者を増やす条件整備を。
- ・今後このような機会はあるのか。年1回ではなく回数を増やしていただきたい。
- ・アンケート実施後に実際に改革に取り組んだ事例はあるか。



## わたしたちの町



※3月時点の在学学校名です



### 「猪苗代の魅力」

はせがわ れん  
長谷川 漣 さん  
(猪苗代小)

僕は猪苗代町がすごいと思います。この町にいてよかったです。猪苗代町はとても自然がいっぱいな町です。春にはたくさん桜が咲き、夏は猪苗代湖での水浴、秋は磐梯山の紅葉、冬はスキーやスノーボードを楽しめます。湖と山が両方ある、すごく自然豊かでたくさん魅力がある猪苗代町には、どの季節でもたくさんの観光客が訪れます。その中に



は、外国からわざわざ猪苗代にきて観光を楽しむ人もいます。僕は、観光客がもっと増えて、たくさんの人たちに猪苗代町の魅力を知ってほしいです。

私は六年生になり、はじめて本格的に陸上競技とクロスカントリースキーに取り組みました。すると新たな猪苗代町のよさを知ることができました。

冬になると毎週土日はクロスカントリー場に練習に行きました。町内の小・中学生や大人のたちが猛吹雪の日も晴れた日も一生懸命に滑っています。私もスポ少の監督の指導のもと一生懸命練習しました。いろいろな挑戦した今年はまだ知らなかった猪苗代町のよさを知ることができました。

### 「猪苗代町の新たな発見」

はしもと さき  
橋本 沙樹 さん  
(緑小)



## 傍聴においで下さい

6月議会は  
6月1日(木曜日)  
開会予定です。

【一般質問予定日：6日(火)・7日(水)】

※質問者・質問内容については5月26日以降に町のホームページに掲載します。また右施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

### 掲示施設名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・まちのえきまるしめ

議長 渡辺真一郎  
委員 星野あけみ  
委員 渡部一登  
委員 鈴木元  
委員 大高佐代美  
副委員長 長澤 操

### 議会広報編集特別委員会

星野 あけみ

これからもわかりやすい広報づくり情報発信に努めてまいります。

## 全国町村議会議長会表彰

15年以上の多年にわたり、地方自治の伸展に貢献した功績が認められ、渡辺真一郎議長と五十嵐ミエ子議員が自治功労者として表彰されました。



### 今号の表紙

4月6日、町内の小学校には6校あわせて85人、中学校には90人が入学しました。おめでとうございます。

## 編集後記

議会改革の一つとして協議してきた「町民の皆様との意見交換会」を開催しました。限られた時間の中で有意義な意見交換の場とすることができました。ご協力頂きました皆様には感謝を申し上げます。頂いたご意見ご要望は今後の議会活動に活かしてまいります。